

1. 主な研究内容について

当研究室では、精神障害に関して、精神的側面だけでなく身体的側面を加えた「脳－精神－身体」の関連を捉える研究に取り組んでいます。「脳」と「精神」と「身体」の関連から、精神疾患の病態を捉えていきたいと考えています。

主な研究テーマは、統合失調症の認知機能障害に関する研究と、内受容感覚に関する研究です。具体的には以下のようなテーマに取り組んでいます。

- 1)統合失調症の表情認知や複雑な状況判断・意思決定能力と社会機能との関連
- 2)内受容感覚の鋭敏さと意思決定
- 3)内受容感覚の鋭敏さと共感

このような研究テーマに加えて、精神障害のある方の回復に役立つ新しい評価や介入技法などについても探求していきたいと考えています。

2. 主な共同研究先

なし

3. 今まで指導した修士論文名

精神障がい者との社会的接触によるスティグマ低減効果の検討および効果的な社会的接触の探索
統合失調症のコーピングスタイルと関連する因子の探索

4. 主な論文

- ・福原啓太, 田中寛之, 小川泰弘, 永田優馬, 田中宏明, 大西久男, 西川隆: 統合失調症患者における語用論的言語(比喩・皮肉)の理解能力について, *Journal of rehabilitation and Health Sciences*, 14, 15-25, 2016
- ・芳賀大輔, 正村優子, 吉田文, 橋本弘子, 田中宏明, 内藤泰男: 統合失調症患者の観察式の認知遂行機能尺度の作成, *大阪作業療法ジャーナル*, 26(1), 57-59, 2012
- ・田中宏明, 立山清美, 谷口英治, 清水寿代, 吉田文: 統合失調症と広汎性発達障害, *Journal of rehabilitation and Health Sciences*, 9, 1-6, 2011
- ・田中宏明, 小川泰弘, 高橋謙, 芳賀大輔, 内藤泰男: ギャンブリング課題における統合失調症の学習の障害, *Journal of rehabilitation and Health Sciences*, 9, 11-13, 2011
- ・田中宏明, 芳賀大輔, 高畑進一, 井上英治, 小林徹: 「思い出塗り絵」が軽度認知症患者の認知機能, 心理機能, 及び日常生活面に与える効果, *Journal of rehabilitation and Health Sciences*, 7, 39-42, 2009

5. 現在の指導している大学院生数

M2:1名

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか?

精神科リハビリテーションに関する研究テーマに対して、意欲的に探求していく大学院生を求めます。事前に相談してください。